



Very! Berry! Miki-cho



三木町役場

〒761-0692 香川県木田郡三木町大字氷上 310 番地  
TEL : 087-891-3300 (代表) FAX : 087-898-1994



町ウェブサイト



移住のしおり

いいまち、いいこと  
三木  
いちご  
暮らし



出荷量県内 No.1!

手厚いサポート

販路もばっちり

先輩がいっぱい

MIKI, KAGAWA

**Miki  
三木はいいまち**

香川県のやや東寄り、県庁所在地・高松市の東隣にある三木町。南北に長く、利便性の高い平野部から自然豊かな山間部まで兼ね備え、南側は徳島県に接しています。小さいまちですが製造業を中心にさまざまな企業が集積し、医療機関や教育機関も充実。高松市街地へも好アクセスで、生活しやすいまちです。

**香川県木田郡 三木町**

**人口** 10,990世帯 26,382人  
2023年2月1日現在

**面積** 75.78 km<sup>2</sup>  
(東西 5.8km × 南北 18.54km)

**アクセス**

- 高松空港から 車で約30分
- JR高松駅から 車で約30分  
ことでん約30分
- 高松市街から 車で約30分
- 岡山市街から 車で約2時間
- 関西方面から 車で約2~3時間  
高速バスで約2~3時間

## ちょうどいい田舎暮らし

町内氷上エリア周辺には、飲食店やスーパー、ドラッグストア、日用品店といった生活機能がコンパクトにまとまっており、日々の暮らしには事欠きません。また、高松市街や郊外大型ショッピングモールへも気軽に出かけられます。医療機関や教育機関が充実しているほか、「若者が帰ってくるふるさとを創る」を基本方針として、「子育てよし、住んでよし、学び遊んでよし、働いてよし」の元気で人間味溢れる魅力的なまちづくりをめざしています。



## 自然や文化が豊か

昔ながらの里山の風景を楽しめるのどかな小農エリアや、メタセコイアの巨木がそびえる太古の森の他、虹の滝キャンプ場など、家族連れて遊びと楽しめるアウトドア施設も点在。また、町内には多数の獅子連があり、秋のお祭り時期にはどこからともなく獅子舞の鉦の音が聞こえています。大迫力の大獅子も4頭おり、地域全体で伝統文化を守り伝えています。



## 1. 暮らす楽しみいっぱい！

三木町健康生きがい中核施設「サンサン館みき」では趣味の講座やさまざまな運動プログラムを開催。「三木町文化交流プラザ」は大小のホールと約6万冊の蔵書を備えた文化創造の拠点。



## 2. 教育機関が充実！

小学校3年生から外国語教育の充実に取り組み、姉妹都市・北海道七飯町やカナダ・ディズベリー町との交流事業も行っています。

- |     |    |          |              |
|-----|----|----------|--------------|
| 小学校 | 4校 | 中学校      | 1校           |
| 高校  | 1校 | 県立三木高等学校 |              |
| 大学  | 1校 | 2キャンパス   | 香川大学 医学部・農学部 |

## 3. 嬉しい！手厚い移住支援メニュー



- 移住の検討段階から、実際に住まい探し、住み始めるところまで一貫してサポート！あなたの三木暮らしスタートを徹底応援します。
- ▶ 町内への移住を検討する際にかかった宿泊経費の一部助成
  - ▶ 貸貸物件の家賃や購入経費の一部助成
  - ▶ 引越し、リフォーム費用の一部助成 など
- ※諸条件あり



## 4. 切れ目のない子育て支援

慣れない土地での子育てに不安はつきもの。三木町では、妊娠～就学期まで長期にわたる各種支援で子育て家族の暮らしをサポートします。

- ・情報充実！オリジナル子育てハンドブック配布
- ・プレママや産後ママの集いの場を運営
- ・病児保育や家事援助などのサポート
- ・各学校の敷地内に「放課後児童クラブ」設置



詳しくはこちら



## 三木は“いちご”的まち

実は、三木町のいちごの出荷量は県内トップ！  
主に香川県のオリジナル品種「さぬきひめ」と希少な「女峰」の  
2つの品種が栽培されています。



**女峰** よほう



**さぬきひめ**

全国でも生産地が限られている希少品種。  
果実は綺麗な円錐形。表面だけでなく中  
まで鮮やかな赤色で美しい。甘みの中に  
しっかりと酸味を感じる。

果実のサイズは大きめ。食感は柔らかく、  
果汁がたっぷりでみずみずしい味わい。  
糖度が高くさわやかな酸味があり、甘く  
深みのある豊かな香りが特徴。

### ここがポイント！三木のいちご

#### 生産者どうしがタッグを組んでいる

生産農家は約50戸(法人含む)。  
JAのいちご部会などがあり、  
情報交換を欠かしません。

#### JJAのバックアップが心強い

業務用としての需要も高く  
高付加価値で販売！  
首都圏や関西圏への出荷実績も多数。

### もっと知りたい「三木いちご暮らし」

町ウェブサイトにてインタビュー記事公開中！



いちごのまち  
三木町

「森のいちご」を  
楽しみに来てください

いちごは赤い色のほうが  
美味しいと思ってない？

HAPPYな気持ちになる  
果物をつくりたい



## 三木町でいちご農家をはじめたい！

1

### まずは農林課にお越しください

お金のこと、機材のこと、農地を買う？借りる？  
なんでも聞いてください！

問い合わせ先  
農林課 tel. 087-891-3308

2

### 研修・インターーン

JA香川県農業インターーン制度や香川県農業大学校での研修などを実施しています。



3

### 1～2年後、独立※！

ハウスなどの生産施設を導入の際には、公的支援（補助事業・融資事業）を活用できます。  
※研修期間含む。生産施設建設に着手するまでの期間



いちご農家で  
働きたい方の  
求人情報は

あぐりナビ 検索



Interview

### どうしていちご栽培が盛んなの？



JA三木いちご部会  
藤野 紘嗣さん  
ふじの ひろつき

三木町が近年いちごの産地として発展したのは、関係者の努力の賜物といえます。例えば、比較的大きな生産者の元には、町外から農業研修生が来ることもありますが、どの農家も研修生に協力的で、将来的に独立できるようしっかりとサポートを行っています。また、研修生自身も勉強熱心で夢を叶えたいと思ってくる方が多いですね。

町外からの移住・新規就農となると、地域活性課・農林課と関係部署が増えますが、課を横断して親身に相談に乗ってもらえる体制ができているのではないでしょうか。JAもプランディングに積極的に高付加価値で販売しています。

産地全体として、日々チャレンジを欠かさず、得た知見を周囲とシェアするという良いサイクルができあがっていると思います。ぜひ、多くの方に仲間になってほしいです。

三木いちご暮らしの先輩をCheck!!

# MIKI ICHIGO LIFE

## チャレンジしやすい環境と、 学び合える仲間

かわの だいすけ  
河野大輔さん／就農4年目

三木町出身の河野さんは東京で働いていましたが、自分の裁量で働く暮らしをしたいと帰郷。帰省して家族でいちご狩りを楽しんだときに、「三木町って新しく来た人に開かれているな、『いい田舎』になってきたな」と感じ、地元での就農を決意しました。町外の果樹園や町内のいちご農園で研修を重ね、4年前に独立。現在は「さぬきひめ」に品種を絞り、日々観察を重ねて品質を追求しています。「いずれはこの品種を全国にいち早く広めたいですし、観光農園もしたいです」と河野さん。「志の高い人、多様な背景を持った人が集まっているのが、このまちならではの楽しさですね」と笑顔で語ります。



「良いものを作らないと産地全体にキズが付く。しっかり気を引き締めつつ、周囲にも気配りして協力し合っています」



適度に葉を取り、風通しを良くします。

夜は電灯を点けて日照時間を調整。

### my 移住 history



2017年10月



2018年4月



2019年7月

△現在△

2023年1月

帰郷。JAのインターン※のかたわら栽培作物を摸索。初年度から出荷可能ないいちごに的を絞る。※P05

独立を見据え、三木町内のいちご農家で研修。仲間と切磋琢磨する日々。農地の確保は難航…。

知人の紹介でようやく農地が決まる。資金調達や開業準備のため、役場や金融機関に通い詰める。

怒涛の1・2年目を終え、ようやく余裕が。栽培の奥深さにハマリ、楽しみながらも試行錯誤の日々。



ここがいいこと

( ストレスフリー！ )

( 心強い仲間がいる )

「夜明け前の星空を見ながらハウスに向かう時間が最高」と河野さん。独立後は、仕事の進め方や栽培方法を決めるのは自分。「毎日が自由で、ハウスに行くのが楽しみです」

( 先輩が培った手堅い販路 )

長年、生産者・JA・町が三位一体でブランド化に取り組んだ結果、取引単価は平均より高く※、関西・首都圏へも販路を持っているため、初年度から専業農家として独立することも夢ではありません。

※令和2年度実績